

入場無料

定員500名
(先着順)

ウイルス・幹細胞システム医生物学共同研究拠点

京都大学医生物学研究所 第18回 公開講演会

生命科学から生まれる次世代テクノロジー

科学の魅力は、未踏の生命現象を発見し、その不思議を解き明かすことにあります。

一方、私たちの好奇心から生まれた科学は、テクノロジーとして私たちの未来を形作る鍵ともなっています。

医生物学研究所では、幅広い研究領域で日々未来を探索しています。

今回は、
医生物学研究所の研究成果から生まれた先進的なバイオテクノロジー
に焦点をあてます。

2024年
7月20日(土)

会場

京都大学百周年時計台記念館
百周年記念ホール

14:00～16:10 (開場 13:30)

電気の力で細胞を操作する

新宅 博文 (医生物学研究所 教授)



生命を解き明かし、
未来医療をつくるウイルス研究

朝長 啓造 (医生物学研究所 教授)

ウイルス・幹細胞システム医生物学共同研究拠点

京都大学医生物学研究所

第18回 公開講演会

生命科学から生まれる次世代テクノロジー

2024年

7月20日(土)

14:00～16:10 (開場 13:30)

会場

京都大学百周年時計台記念館
百周年記念ホール

プログラム 司会 中台 枝里子 (医生物学研究所 教授)

14:00～14:05

開会挨拶

河本 宏 (医生物学研究所長)

14:05～15:05

電気の力で細胞を操作する

新宅 博文 (医生物学研究所 教授)

生命の最小単位である細胞は、細胞膜という薄い膜に包まれていて、中から内容物が飛び出さないようにしています。電気を使うと細胞膜に少しだけ穴を開けて中から物を取り出したり、あるいは外から中に物を入れたりすることができます。この現象を用いた新しいバイオテクノロジーについて紹介します。

15:10～16:10

生命を解き明かし、未来医療をつくるウイルス研究

朝長 啓造 (医生物学研究所 教授)

生命が誕生して以来、ウイルスは私たちの身近なパートナーとして存在してきました。すなわち、ウイルス研究は、病気を克服する上で重要であるだけでなく、私たち生命の本質や進化の謎を解き明かす手段ともなります。ウイルス研究から広がる生命科学や新たなテクノロジー開発を紹介します。



事前申込制・申込先着順

参加ご希望の方は、下記URLもしくは右記QRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/TxfqYccF2v3CdizZ6>

2024年7月18日(木) 申込締切
定員500名(先着順)



※参加者の皆様の情報を適切に保護し、本講演会の開催・受付目的以外には使用いたしません。

表面のデザインについて

電気を使って細胞膜に穴を開けて核酸を取り出す様子と、ウイルス研究の医療への応用を図案化したものです。

お問い合わせ先

京都大学医生物学研究所総務掛

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53

☎ 075-751-3802

✉ 330seminar@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

🌐 <https://www.infront.kyoto-u.ac.jp/>